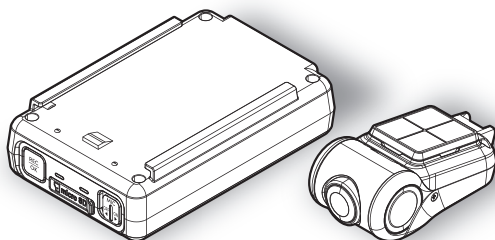


ドライブレコーダー H0014SL300 (ADR-S10F) [フロントカメラ]

取扱説明書



この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本書は操作手順について記載してあります。正しくご使用いただくために本
書をよくお読みのうえ、ご使用ください。お読みになった後は、いつでも見
ることができる所に保管してください。

**運転者は走行中に本製品の操作をしないでください。わき見や前方不注意により交
通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車さ
せてから行なってください。**

⚠ 注意

本製品が動作した状態（駐車監視モード中含む）で microSD カードの抜き挿しを行
わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。
必ず本製品の LED が完全に消灯したことを確認し、microSD カードの抜き挿しを
行なってください。

※駐車監視モード動作中は【駐車監視モード動作中の microSD カードの取り出し
方について】（⇒ P28）を参考に取り出しを行なってください。

販売元：株式会社 SUBARU

はじめに

映像を撮る

映像を見る

駐車監視モード
を使用する

スマートフォン専用
アプリを使用する

設定

その他

目次

目次	2	スマートフォン専用アプリを 使用する	29
はじめに	3	専用アプリを使用する	29
安全上のご注意	3	設 定	32
ご使用上のお願い	5	本体設定を変更する	32
知っておきたいこと	7	設定内容一覧	33
もしも事故が起きたら	9	録画設定	34
新しい microSD カードを 使用する	10	機能設定	36
microSD カードの取り出し方	10	駐車監視設定	38
各部名称	11	付 録	40
映像を撮る	12	よくあるご質問	40
映像の記録について	12	LED ランプ確認表	44
電源を ON にする	18	アナウンス確認表	45
電源を OFF にする	18	アラーム音確認表	46
リセットスイッチについて	18	記録時間の目安	47
映像を見る	19	SD カードを初期化する (録画データの消去)	48
パソコンで映像を再生する	19	工場出荷状態に戻す (オールリセット)	49
パソコンで録画データを 保存する	23	リヤカメラと接続する	50
地図表示について	25	本体を更新する	52
保存ファイルを開く	25	商標について	52
駐車監視モードを使用する	26	製品仕様	53
駐車監視モードについて	26		
駐車監視モードの動作について	27		

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」、「注意」の2つに区分して、説明しています。

警告 この表示は、「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

注意 この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について	
	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを2秒程度長めに押すことを示しています。

警告	
	運転者は走行中に本製品の操作をしないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
	本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・お車の故障の原因となります。

はじめに

⚠ 警告	
	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与えるおそれがあります。
	穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
	異物が入っている、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
	運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。
	エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、けがの原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。
	microSD カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまうおそれがあります。
	取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
⚠ 注意	
	気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
	カメラの通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
	本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。 ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。 ・湿度が高い所やほこりの多い所。
	付属品を加工して使用しないでください。故障や破損の原因となります。
	microSD カードを本製品に挿し込む場合、挿し込み方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
	本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。 ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。 ・本体を水にぬらしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
	一部の運転支援システム装着車の場合、取付位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

ご使用上のお願い

- **本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。**
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- **事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。**
- microSD カードの抜き差しを行う際は、必ず本製品の LED が完全に消灯したことを確認後、microSD カードを抜いてください。microSD カードへのデータ書込み中および読み込み中に microSD カードの抜き差しを行うと、データ破損やデータ消失、microSD カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSD カード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。
- **本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。**
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画で保存することをおすすめします。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が綺麗に記録されない場合があります。
- 本製品の動作中、本体表面が熱くなることがありますが異常ではありません。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。
- 録画データ内に内部の電子部品の動作音が記録される場合があります。あらかじめご了承ください。
- レンズに強い衝撃を与えると、レンズ角度が変わることがあります。ご注意ください。
- ガラスに水滴が付いているときや汚れているとき、曇っているときなどは、映像が見えにくくなる場合があります。その際はデフロスターやワイパーを併用してください。

はじめに

- 夜間にナビの画面や、昼間に太陽光を反射してダッシュボード等がガラスに映り込み、映像に残る場合があります。また外部環境により映像画質が変化します。
- サンシェードを設置した場合、外光の反射などが駐車監視モード中の映像に記録される場合があります。
- 本体の近くに車両キーを置かないでください。電波干渉により車両がキーを見失うおそれがあります。
- 弱電界地域では地上デジタルテレビ放送が映らなくなる場合があります。
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、PC ビューアで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品にはお車に取り付けの日から 3 年間の製品保証がついています。
(ただし microSD カード、両面テープ、内蔵バッテリー等の消耗品は保証の対象となりません)
- 本製品は動作安定性向上のため、ソフトウェア（ファームウェア）のアップデートプログラムをホームページで公開する場合があります。定期的にホームページをご確認いただき、常に最新のバージョンでのご使用を推奨します。
※アップデートプログラムのダウンロードにかかる通信費やアップデートに関する作業代はお客様のご負担となります。
・掲載ホームページアドレス：
<https://www.mems.co.jp/product/sbr-dr/>
- 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
- 本製品は DC12V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行なっておりません。
- 生産終了により、補修用部品や修理後の性能保証等の事情から修理できない場合があります。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

知っておきたいこと

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS 衛星受信と車載電子機器

ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。そのような場合、車載電子機器から離し GPS 衛星の受信に影響のない箇所へ本製品を取付けてください。

● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

● GPS による速度表示について

GPS での速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

また車両が停車中の状態でも、速度表示が 0km/h にならない場合があります。これは GPS 受信の誤差によるもので、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

● HDR について

本製品には、HDR 機能が搭載されています。(ON 固定)

HDR とは、High Dynamic Range (ハイダイナミックレンジ) の略称で、明るさの違う複数の写真を合成することで、逆光や暗所での撮影でも白とびや黒つぶれを防ぎ、鮮明な映像を記録することができます。

※撮影条件によって一部の画像が二重に重なって記録される場合があります。

● PureCel® Plus について

本製品には、夜間やトンネル内などの暗い場所でもノイズが少なく鮮明な映像を記録できる、OMNIVISION™ 社の PureCel® Plus 技術を搭載した CMOS センサーを搭載しています。

● 日時情報の保持について

本製品の日時情報は車両常時電源により保持しています。そのため車両バッテリーの取外しや本体電源コネクターの取外しを行うとリセットされます。その場合 GPS を受信することにより日時情報は設定されます。

はじめに

● microSD カードについて

- ・ 付属の microSD カードは本機専用です。
- ・ 本機を使用するときは、microSD カードが必要です。
本製品に付属の microSD カードは 32GB (Class10) です。
- ・ microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。
1 日 2 時間程度使用する場合で約 2 ～ 3 年を目安に交換することをおすすめ
します。また使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。
※寿命となった microSD カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、
正常に動作しなくなります。
- ・ 付属または純正の microSD カード使用時に microSD カードの寿命が近くなると、起動時に microSD カードの交換推奨時期であることをお知らせします。microSD カードの寿命により映像の記録ができなくなる前に早めに microSD カードを交換することをおすすめします。(⇒ P45)
- ・ microSD カードをフォーマットすると記録されたデータがすべて消去されます。
- ・ 本製品使用時は付属または純正の microSD カードを使用してください。弊社製品以外の microSD カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかね
ます。また弊社製品以外の microSD カードを挿入した場合、「非純正の SD カード
が挿入されています。」とアナウンスを行います。

● 本製品のファイルシステムについて

- ・ 本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。
- ・ 本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによる SD カードの断片化を格段に抑えたファイルシステムとなっているため、SD カードをフォーマットする頻度を大幅に減らし、使用することができます。
※本製品は microSD カードを定期的なフォーマットをせずにご使用いただけますが、microSD カードは消耗品のため、その特性上、フォーマットを行なった方がより長く使用することができます。
- ・ 本機で記録したデータをパソコンなどで削除を行なっても、本機に戻すと復元されます。記録したデータを削除する場合は、【SD カードを初期化する】(⇒ P48)を参考に初期化を行なってください。
- ・ パソコンなどでフォーマットを行なった microSD カードを本機へ挿入すると SD カードの初期化がアナウンスされますので、そのまま使用する場合はアナウンスの内容に従って初期化を行なってください。

● 本製品の使用周波数について

- ・本製品は電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合の証明を受けています（証明を受けた部品を使用しています）。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国外で使用するすると各国の電波法に抵触する可能性があります。
- ・本製品を分解 / 改造を行うと法律で罰せられることがあります。
- ・本製品の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店にご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
 - その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ・本製品の周波数表示と意味は下記のとおりです。

2.4	: 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
OF	: OFDM 変調方式を表します。
1	: 電波干渉距離は 10m 以下です。
■■■■■	: 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

● カメラの取付位置について

フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準によりフロントガラス上部より 20% 以内に設置するよう、設置場所が限定されています。

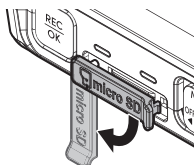
※道路運送車両の保安基準第 29 条（窓ガラス）、細目告示第 195 条および別添 37



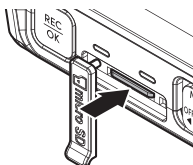
フロントガラス上部より 20%以内に取付ける

もしも事故が起きたら・・・

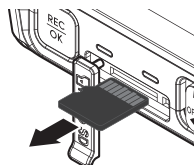
事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、電源を OFF にし必ず microSD カードを抜いて保管してください。



本体正面力バーを
引き出し、下方向へ倒す。



microSD カードを
軽く押し込み、



少し飛び出してきたら
引き抜く。

はじめに

新しい microSD カードを使用する

弊社別売オプションの microSD カードなどの新しい microSD カードを使用する際は、起動時のアナウンスに従い、SD カードの初期化を行なってください。(⇒ P48)

microSD カードの取り出し方

microSD カードを取り出すときは車両キースイッチを OFF 後、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。



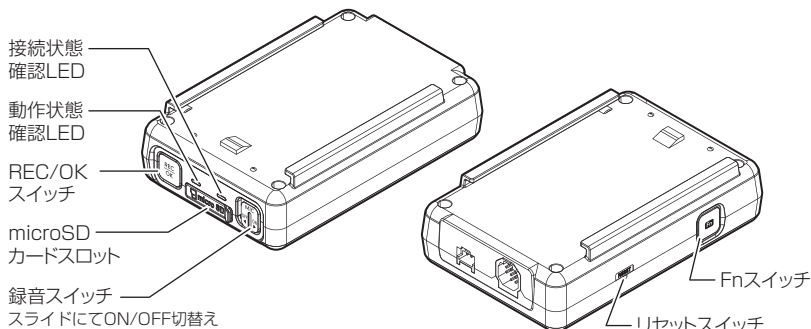
※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず microSD カードの端子面が見えるように挿入してください。逆向きに無理やり挿入すると破損します。

⚠ 注意

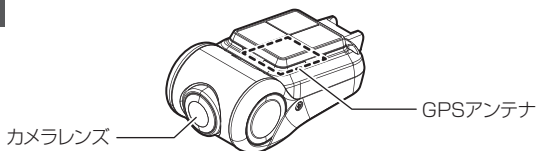
- ・本製品が動作中、カメラ表面が高温になる場合がありますが、異常ではありません。
- ・本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、microSD カードスロット周辺、microSD カードは特に高温になります。触れる際はご注意ください。
- ・本製品が高温の場合は、温度が下がった後で microSD カードの抜き挿しを行なってください。
- ・本製品が動作した状態（駐車監視モード中含む）で microSD カードの抜き挿しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず本製品の LED が完全に消灯したことを確認し、microSD カードの抜き挿しを行なってください。
- ・※駐車監視モード動作中は【駐車監視モード動作中の microSD カードの取り出し方について】(⇒ P28)を参考に取り出しを行なってください。
- ・microSD カードを本体の microSD カードスロットに挿し込む際は、向きや挿入方向にお気をつけください。無理に挿入すると、microSD カードスロットの破損や microSD カード自体の破損の原因となります。
- ・microSD カードを抜く際に、ラジオペンチなどの工具を使用しないでください。microSD カードの破損の原因となります。

各部名称

本 体



カメラ

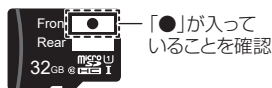


microSDカードについて

付属microSDカードにはフロントカメラ用か
リアカメラ用か識別できるように印刷がされています。
本製品へは必ず[Front] 部へ「●」の入った
microSDカードを挿入してください。

互い違いに挿入した場合、エラーアナウンスが行われます。

※補修用microSDカードをご購入された場合「●」は入っていないため、ご使用になる製品に
合わせて「●」等のマークを入れてご使用ください。



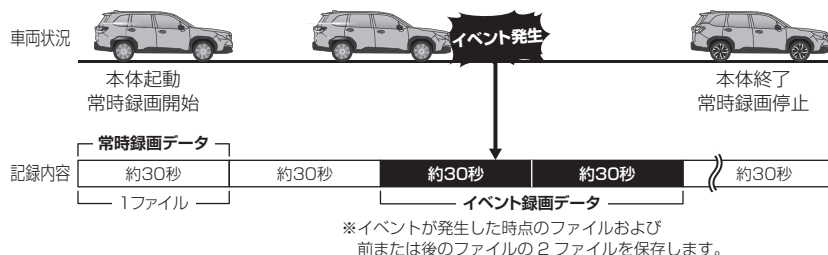
⚠ 注意

- ・本製品の動作中、カメラ表面が高温になる場合がありますが、異常ではありません。
- ・本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、microSD カードスロット周辺、microSD カードは特に高温になります。触れる際はご注意ください。
- ・通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

映像を撮る

映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。



事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。

アドバイス

- ・ microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。
- ・ 本体起動直後や録画データの記録直後にスイッチ操作や衝撃を検出すると、記録されないことがあります。
- ・ スイッチ操作または衝撃による録画データの保存中は、スイッチ操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。
- ・ 動作状態確認 LED ランプが橙点灯または橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。【LED ランプ確認表】(⇒ P44)および【アナウンス確認表】(⇒ P45)を参照し、動作の確認やエラーへの対処を行ってください。

常時録画について

- ・ エンジンを ON (車両キースイッチを ACC または ON) にした後からエンジンを OFF (車両キースイッチを OFF) にするまでを、常時録画データとして microSD カードに自動で記録を続けます。
- ・ 記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・ [駐車監視延長録画] の設定を行なっている場合、エンジンを OFF (車両キースイッチを OFF) にした後も、設定時間「駐車監視常時録画」として映像の記録を行います。

イベント録画について

- ・本製品で検出できるイベント録画には下記の 3 種類があります。
 [衝撃録画] 衝撃を検出した時点のファイルを記録
 [マニュアル録画] ... REC/OK スイッチを操作した時点のファイルを記録
 [駐車監視衝撃録画] ... 駐車監視モード中に衝撃を検出した時点のファイルを記録
- ・記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・イベント録画として保存されるデータは常時録画としても保存されます。
- ・[駐車監視衝撃検知] 設定を ON にし、[駐車監視延長録画] 設定時間経過後の衝撃録画の場合、待機中は動作を停止（スリープ）し、衝撃を検出すると起動し、映像を記録後、再度動作を停止（スリープ）します。
- ・リヤカメラと接続時、「衝撃録画」および「マニュアル録画」は前後連動して記録を行います。その際リヤカメラの G センサーや【REC/OK スイッチ】は無効になります。またリヤカメラの〔後続車接近録画〕設定を ON にしている場合は、後続車の接近を検出した際にフロントカメラも連動して「後続車接近録画」として前方映像を記録します。

イベント録画の記録ファイルについて

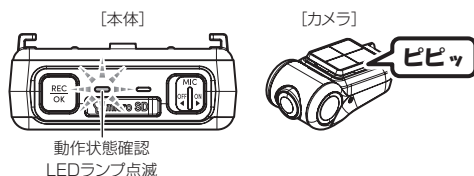
1 ファイルの前半 1 / 3 以内に各イベントを検出した場合は一つ前のファイル、後半 2 / 3 以内に各イベントを検出した場合は一つ後のファイルの計 1 分を各イベント録画データとして記録します。

【駐車監視衝撃検知】設定を ON にした場合

[駐車監視延長録画] 設定時間経過後、本体は動作を停止します。衝撃を検出した場合起動し、起動後の 2 ファイル計 1 分の映像を「駐車監視衝撃録画」として記録します。

👉 アドバイス

本製品が衝撃やスイッチの操作を検出すると『ピピッ』と音が鳴り、動作状態確認 LED ランプが点滅を行います。



映像を撮る

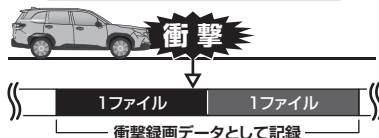
■衝撃録画データ【リヤカメラ接続時前後連動記録】

- ・本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルおよび前または次のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。
- ・『衝撃録画データ』の検出感度は G センサー設定により前後・左右・上下それぞれ 0.1 G 単位で感度調整することができます。(⇒ P36)

前半 1/3 以内に衝撃を検出した場合



後半 2/3 以内に衝撃を検出した場合



👉 アドバイス

- ・路面の凹凸や段差の通過時、または急なハンドル操作・ブレーキ操作時には、G センサーが衝撃として検出し、衝撃録画が行われる場合があります。
- ・衝撃の検出頻度が気になる場合は、使用状況に応じて、[G センサー] 設定 (⇒ P36) で感度を調整してください。
- ・G センサーの感度を敏感に設定すると衝撃を検出しやすくなります。また、感度を鈍感に設定すると衝撃を検出しにくくなります。

■マニュアル録画データ【リヤカメラ接続時前後連動記録】

本製品の【REC/OK スイッチ】を短押しすると、スイッチを操作した時点のファイルおよび前または次のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。

前半 1/3 以内にスイッチを操作した場合



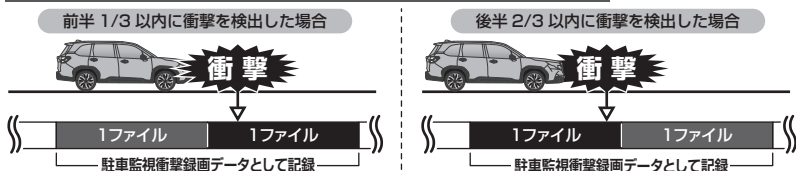
後半 2/3 以内にスイッチを操作した場合



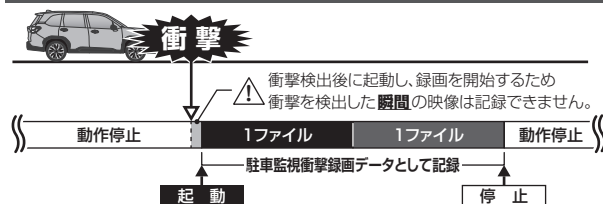
■駐車監視衝撃録画データ

- ・ 駐車監視モード中に本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。
- ・ 【駐車監視延長録画】 設定時間動作中の場合、衝撃を検出した時点のファイルおよび前または次のファイルを『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。
- ・ 【駐車監視衝撃検知】 動作中の場合、通常時は動作を停止（スリープ）し、衝撃を検出すると起動し、起動後の 2 ファイルの映像を『駐車監視衝撃録画データ』として記録後、再度動作を停止（スリープ）します。
- ・ 【駐車監視延長録画】 および 【駐車監視衝撃検知】 を同時に設定している場合、【駐車監視延長録画】 設定時間経過後、【駐車監視衝撃検知】 動作へ移行します。
- ・ 『駐車監視衝撃録画データ』の検出感度は駐車監視衝撃感度設定により 0.02G 単位で感度調整することができます（⇒ P38）
- ・ 駐車監視モード中はフロントカメラとリヤカメラを接続して使用していても、衝撃を検出したカメラ側のみでの記録となります。

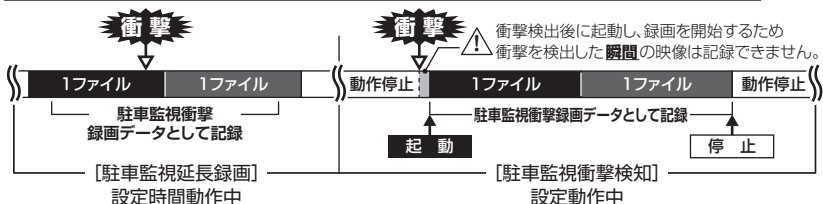
【駐車監視延長録画】 設定時間動作中の衝撃録画の場合



【駐車監視衝撃検知】 動作中の衝撃録画の場合



【駐車監視延長録画】 および 【駐車監視衝撃検知】 を同時に設定した場合

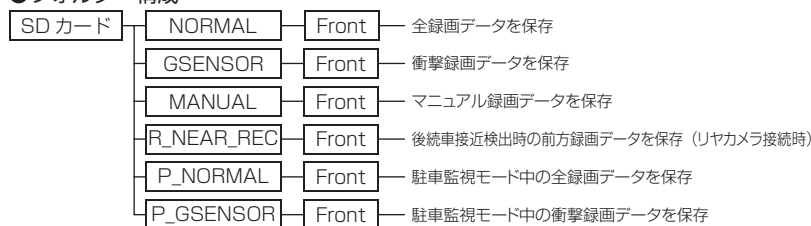


映像を撮る

保存先フォルダー名・ファイル名について

本製品が記録したデータは、各項目ごとのフォルダーへ録画を開始した日時・録画データの種類をもとにしたファイル名で保存されます。

●フォルダー構成



●ファイル名称は以下の内容で保存されます。

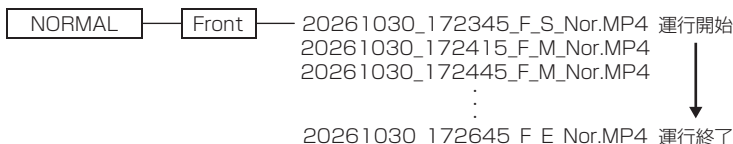
録画を開始した

年	月	日	時	分	秒※		録画データ種類	
YYYY	MM	DD	hh	mm	ss	F/R	S/M/E	XXX.MP4

※年月日および時分秒は本体に設定された日時情報をもとに記録されます。

カメラ種別	運行状態
F: フロントカメラ	S: 運行開始
R: リヤカメラ	M: 運行中
	E: 運行終了

例) 2026/10/30 17:23:45 に常時録画を開始したフロントカメラ映像のフォルダー名とファイル名



■録画データ種類部の表示について

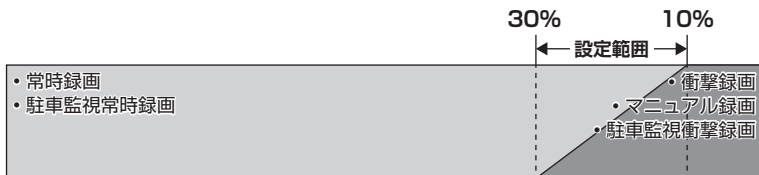
表示	内容	表示	内容
Nor	常時録画データ	Gsn	衝撃録画データ
Man	マニュアル録画データ	Rea	後続車接近検出時の前方録画データ ※リヤカメラ接続時
P_Nor	駐車監視常時録画データ	P_Gsn	駐車監視衝撃録画データ

※ また録画状況により下記の内容が追記される場合があります。

表示	内容	表示	内容
Res	復元されたデータ	c	高温または低温状態により、録画を終了したデータ
SDE	録画中に電源 OFF されたデータ	s	緊急録画停止機能により録画を終了したデータ
Rst	日時情報が初期化された状態で録画されたデータ	v	電圧低下により駐車監視モードが終了した際のデータ

録画領域について

- ・お買い上げ時の設定では microSD カード全体の 80% を常時録画、20% をイベント録画の領域として設定されています。
- ・設定によりイベント録画のデータ保存容量の割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。(⇒ P35)
- ・イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。
- ・駐車監視常時録画は常時録画の領域、駐車監視衝撃録画はイベント録画の領域に含まれます。そのため駐車監視モード中に記録上限に達した場合、通常の常時録画データまたはイベント録画データの古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・録画時間の目安に関しては【記録時間の目安】(⇒ P47) を参照してください。

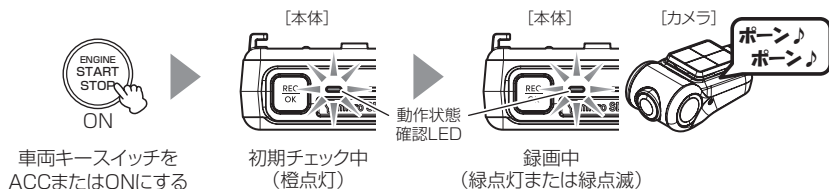


※ 録画領域を変更する場合、microSD カードの初期化が必要となり、記録されたデータが全て消去されます。変更する場合は必要に応じてパソコンなどへバックアップを行ってから設定を変更してください。

映像を撮る

電源を ON にする

車両キースイッチを ACC または ON にしてください。



アドバイス

microSD カードチェック機能

本製品では起動時に microSD カードをチェックし、カードが破損していた場合はアナウンスで異常をお知らせするため、撮り逃しを防止できます。

※対処方法に関しては【アナウンス確認表】(⇒ P45) を参照ください。

電源を OFF にする

車両キースイッチを OFF にしてください。



リセットスイッチについて

本製品が動作しなくなったり、誤動作を起こした際は本体のリセットスイッチを先の細い物で押して、システムを再起動してください。

※ リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。



パソコンで映像を再生する

本製品で録画した映像は、PC ビューアを使用することで、加速度などの情報と併せて映像を再生することができます。

※ PC ビューア以外の再生ソフトをご使用すると正常に再生できない場合があります。

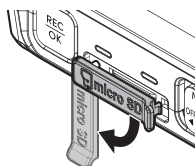
■ PC ビューアの推奨 PC 仕様

OS	Windows® 11
CPU	Intel® Core™ i5 プロセッサ 2.7GHz 同等以上を推奨
グラフィックス	Intel® HD Graphics 620 同等以上を推奨
メモリー	8GB 以上を推奨
モニター解像度	Full HD (1920 × 1080 ピクセル) 以上を推奨

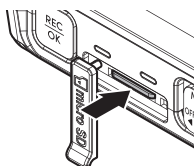
PC ビューアを使用する前に

本体から microSD カードを抜いてください。microSD カードを抜く際は、必ず本体の LED が消灯したことを確認し、microSD カードを取り出します。

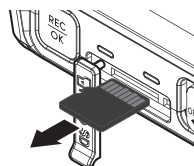
- ・ microSD カードを取り出すときは、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。



本体正面カバーを
引き出し、下方向へ倒す。



microSD カードを
軽く押し込み、



少し飛び出してきたら
引き抜く。

※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ず microSD カードの端子面が見えるように挿入してください。逆向きに無理やり挿入すると破損します。

⚠ 注意

本製品が動作した状態（駐車監視モード中含む）で microSD カードの抜き挿しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず本製品の LED が完全に消灯したことを確認し、microSD カードの抜き挿しを行ってください。

※ 駐車監視モード動作中は【駐車監視モード動作中の microSD カードの取り出し方について】（⇒ P28）を参考に取り出しを行ってください。

映像を見る

PCビューアを使用する

- 1) 本体から抜き取った microSD カードをパソコンへ挿入します。



- 2) microSD カード内にある PC ビューアをダブルクリックして起動します。

PC
Viewer

アドバイス

PC ビューア起動時、本製品のファームウェアや PC ビューアの更新データがある場合、更新お知らせが表示されます。(インターネット接続時 / microSD カード装着時) その際は画面表示および弊社ホームページの手順に従い、更新を行なってください。

- 3) microSD カード内のデータが読み込まれるため、ファイルリストから再生したいファイルを選び【再生】ボタンを押すと映像が再生されます。

再生画面



①	メイン表示エリア	⑮	【正像 / 鏡像】 ボタン：リヤカメラの映像の正像 / 鏡像を切替える
②	サブ表示エリア	⑯	【読み込み】 ボタン：PC ビューアに読み込むフォルダーおよびファイルを指定する
③	地図を表示	⑰	PC ビューアの音量 / 再生速度を調整する
④	現在の映像の再生時間を表示	⑱	最大加速度表示の範囲を表示する また【▲ / ▼】を押すことで表示の範囲を変更が可能
⑤	自車の走行速度を表示 ※ GPS 受信時のみ表示	⑲	加速度グラフおよび各種検出アイコンを表示 緑線.....前後の加速度 (X 軸) 赤線.....左右の加速度 (Y 軸) 青線.....上下の加速度 (Z 軸)
⑥	再生データの録画日時を表示	⑳	G 衝撃を検出した場所
⑦	加速度を数値で表示 チェックボックスの ON/OFF でグラフの表示 / 非表示を選択	㉑	M スイッチ操作を検出した場所
⑧	現在の再生位置を表示	㉒	E 緊急録画停止を検出した場所
⑨	【前へ】 ボタン：現在再生中の一つ前のファイルに戻る	㉓	D 後続車の接近を検出した場所 ※リヤカメラ接続時のみ
⑩	【頭出し】 ボタン：現在再生中の映像の最初に戻る	㉔	常時録画および衝撃録画、マニュアル録画、後続車接近録画のデータを表示する
⑪	【再生 / 一時停止】 ボタン：再生を始める ※再生中は一時停止ボタンに切替わる	㉕	衝撃録画データを表示する
⑫	【次へ】 ボタン：現在再生中の 1 つ次のファイルに進む	㉖	マニュアル録画データを表示する
⑬	【静止画】 ボタン：押した時点の映像を静止画 (jpeg) で 1 枚のみパソコンへ保存、または印刷する	㉗	後続車接近録画データを表示する
⑭	【動画】 ボタン：ファイルリストのチェックボックスにチェックを入れた録画データをパソコンへ保存する	㉘	駐車監視モード中の常時録画および衝撃録画データを表示する
⑮	【表示切替】 ボタン：メイン表示エリアとサブ表示エリアの映像を切替える	㉙	駐車監視モード中の衝撃録画データを表示する
⑯	【フロントカメラ回転】 ボタン：フロントカメラの映像を 180° 回転する	㉚	録画データのファイルリストを表示する
⑰	【リヤカメラ回転】 ボタン：リヤカメラの映像を 180° 回転する		

映像を見る

別売リヤカメラと接続して使用している場合

- 市販のカードリーダーなどを使用して本製品およびリヤカメラの microSD カードを同時に PC に接続することで同期して記録映像を再生することができます。



- フロントカメラとリヤカメラを同期して再生している場合、⑦や②の加速度の値はフロントカメラの G センサーで検出した値が表示されます。リヤカメラの記録映像を単体で再生している場合は、リヤカメラの G センサーで検出した値が表示されます。なお、②で表示される検出アイコンはフロントカメラで検出したイベントを表示します。
- フロントカメラとリヤカメラで録画設定の内容が異なっている、フレームレートの設定が片側だけ [タイムラプス 1 コマ] になっているなど、各設定によっては片側だけの映像になる場合や同期して再生できない場合があります。(⇒ P51)
- 駐車監視モード中はフロントカメラとリヤカメラは接続されず、単体で動作します。ただし録画日時が一致している場合、PC ビューアでは同期して再生を行います。また各カメラ単体で動作しているため、フロントカメラとリヤカメラで録画日時が一致しない場合があります。その際は同期して再生することはできません。

常時	衝撃	マニュアル	後続車接近	駐車常時	駐車衝撃
F/R	トリガ	年-月-日	時:分:秒		
F/R	PG	2026-10-30	10:46:17		
F/R	PG	2026-10-30	10:46:47		
F	PG	2026-10-30	13:17:15		
B	PG	2026-10-30	13:17:16		
F/R	PG	2026-10-30	13:17:45		
PG		2026-10-30	13:43:41		
F	PG	2026-10-30	13:44:11		
R	PG	2026-10-30	13:44:12		
F/R	PG	2026-10-30	16:50:51		
F	PG	2026-10-30	16:51:21		
B	PG	2026-10-30	16:51:22		
F	PG	2026-10-30	22:38:22		
R	PG	2026-10-30	22:38:23		
F	PG	2026-10-30	22:38:52		
F	PG	2026-10-30	22:56:52		
R	PG	2026-10-30	22:56:53		
F	PG	2026-10-30	22:57:22		
R	PG	2026-10-30	22:57:23		

録画日時が一致している場合
[F/R] と表示され、同期して再生可能

録画日時がズれている場合
[F] と [R] それぞれ表示され、個別に再生

パソコンで録画データを保存する

PC ビューアの【動画】ボタンまたは【静止画】ボタンを押すことで、録画データを動画または静止画で保存することができます。

録画データを動画で保存する

- 1) 保存したいファイルのチェックボックスにチェックを入れる。

常時	衝撃	マニュアル	後続車接近	駐車常時	駐車衝撃
F/R	トリガ	年-月-日	時:分:秒		
☐	F/R	2026-10-30	10:46:17		
☒	F/R	M	2026-10-30	10:46:47	
☒	F/R		2026-10-30	10:47:18	
☐	F/R		2026-10-30	10:47:48	
☐	F/R		2026-10-30	10:48:18	
☐	F/R		2026-10-30	10:48:48	
☐	F/R		2026-10-30	10:49:19	
☐	F/R		2026-10-30	10:49:50	

↓ チェックボックス

映像を見る

- 2) PC ビューアの【動画】ボタンを押し、動画の保存先を選択後、【フォルダーの選択】を押す。

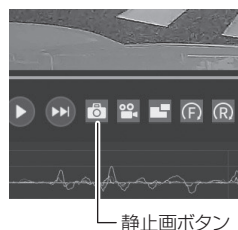


②【フォルダーの選択】を押す

映像を見る

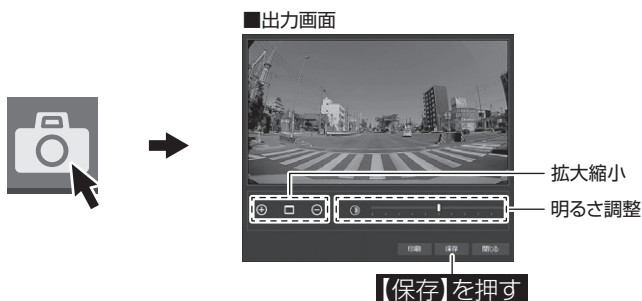
録画データを静止画で保存する

1) PC ビューアの【静止画】ボタンを押す。



2) 出力画面が表示されるので、【保存】を押す。

- ・ スライダーを動かすことにより、保存する画像の明るさを調整できます。
- ・ 拡大縮小ボタンは表示用です。印刷や保存時は元のサイズで印刷 / 保存されます。また中央のボタンを押すことで元のサイズに戻ります。



3) 静止画の保存先を選択後ファイル名を入力し、【保存】を押す。



👉 アドバイス

- ・ 【静止画】ボタンを押し、「印刷」を押すと、静止画を直接印刷できます。
- ・ 保存および印刷されるのは映像部分のみです。日時や加速度は保存、印刷されません。

地図表示について

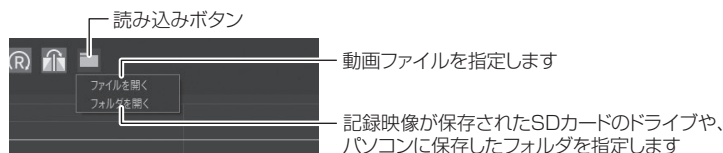
- ・地図表示および走行速度は GPS 情報がある場合に表示されます。
また地図はインターネットに接続されていないと表示されません。
- ・地図上にファイルごとの走行軌跡や、衝撃検出・マニュアル録画検出・緊急録画停止検出・後続車接近検出（リヤカメラ接続時のみ）の位置が表示されます。



アイコン	内容	アイコン	内容
	衝撃検出アイコン		マニュアル録画検出アイコン
	緊急録画停止検出アイコン		後続車接近録画検出アイコン ※リヤカメラ接続時のみ

保存ファイルを開く

PC ビューアの【読み込み】ボタンを押し、参照先を指定することで、ドライブやフォルダーに保存した動画を確認することができます。



アドバイス

保存した動画を一度に大量に開くと、読み込みに時間がかかります。

駐車監視モードを使用する

駐車監視モードについて

- ・本製品は駐車中も電源供給を行い、録画を行う駐車監視モードを搭載しています。
- ・駐車監視モードを使用するには[駐車監視延長録画] 設定(⇒ P38)を【10分/30分/60分】のいずれかに変更、または[駐車監視衝撃検知] 設定(⇒ P38)をONに変更してください。

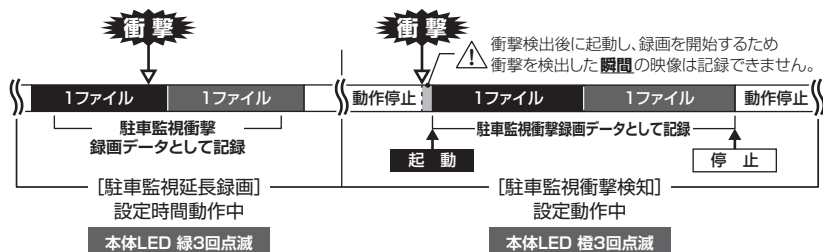
※お買い上げ時[駐車監視延長録画] 設定および[駐車監視衝撃検知] 設定は【OFF】になっています。

⚠ 注意

- ・駐車監視モードは車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- ・次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。
(毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している)
- ・駐車監視モードの使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行なってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- ・車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・長時間録画を行う場合、microSD カードの容量や設定により、録画データが書ききれない場合がありますのでご注意ください。
- ・ドアの開閉時や、荷物の出し入れなどの乗降時の車両振動で衝撃を検出して録画を行う場合があります。

駐車監視延長録画設定と駐車監視衝撃検知設定について

- ・[駐車監視延長録画] 設定時間動作中の場合、衝撃を検出した時点のファイルおよび前または次のファイルを『駐車監視衝撃録画データ』として記録します。
- ・[駐車監視衝撃検知] 動作中の場合、通常時は動作を停止(スリープ)し、衝撃を検出すると起動し、起動後の2ファイルの映像を『駐車監視衝撃録画データ』として記録後、再度動作を停止(スリープ)します。
- ・[駐車監視延長録画] および[駐車監視衝撃検知] を同時に設定している場合、[駐車監視延長録画] 設定時間経過後、[駐車監視衝撃検知] 動作へ移行します。



駐車監視モードの動作について

駐車監視モードに移行する

- ・[駐車監視延長録画] 設定 (⇒ P38) を【10 分 / 30 分 / 60 分】のいずれかに変更、または[駐車監視衝撃検知] 設定 (⇒ P38) を【ON】に設定し、車両キースイッチを OFF にすると駐車監視モードに移行します。
- ・駐車監視モード動作中は動作状態確認 LED ランプが緑または橙で 3 回点滅を繰り返します。
- ・駐車監視モード動作中に衝撃を検出した場合、動作状態確認 LED ランプが緑または橙点滅を行い、『駐車監視衝撃録画』データとして保存されます。



駐車監視モードを終了する

- ・駐車監視モードは車両キースイッチが ON になった時点や REC/OK スイッチを**長押し**することで終了させることができます。
- ・車両バッテリーの電圧が 12V 以下になった際や[駐車監視延長録画時間] 設定で設定した時間経過後にも駐車監視モードは終了します。

■ 駐車監視モードを手動で終了する場合

車両キースイッチを ON にする

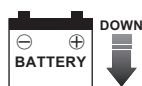


REC/OK スイッチを長押しする



■ 駐車監視モードが自動的に終了される場合

車両バッテリーの電圧が低下する



設定した延長録画時間を経過する



駐車監視モードを使用する

駐車監視モード動作中の microSD カードの取り出し方について

駐車監視モード動作中の場合、エンジンを停止しても本体は動作しています。そのため microSD カードを抜く際は、**必ず REC/OK スイッチを長押しして駐車監視モードを終了し、LED が消灯したことを確認後、microSD カードを抜いてください。**

※本製品が動作中、通気孔付近やレンズ、microSD カードスロット周辺、microSD カードは特に高温になりやすいため、触れる際はご注意ください。



スマートフォン専用アプリを使用する

専用アプリを使用する

本製品はスマートフォンに専用アプリ「SDR-Access」をインストールすることで以下の機能がご使用できます。

項目	内容
録画映像の再生と保存	本製品にて録画した映像の再生と専用アプリ内への保存を行います。
本体設定	本製品の各種設定を行います。また本製品で録画している映像をリアルタイムで確認することもできます。

- ・スマートフォンと接続するには専用アプリをインストールする必要があります。App StoreまたはGoogle Playから「SDR-Access」を検索するか、右記QRコードのリンク先よりインストールしてください。
<https://www.mems.co.jp/product/sbr-dr/>
- ・スマートフォンと接続する際、Apple CarPlay および Android Auto を同時に使用している場合、スマートフォンの通信状況により、本製品との通信が不安定になる、または接続できない場合があります。その場合は、Apple CarPlay および Android Auto との接続を解除してから本製品と接続してください。
- ・専用アプリによる記録映像の再生および設定変更時など、一部機能ご使用時は「アプリ接続中、録画を停止します。」とアナウンスされ、**本製品は録画を停止します。**録画を再開するには、専用アプリを必ず終了してからご使用ください。
- ・高温または低温による動作停止時は記録映像の再生および設定変更など、一部機能は使用できません。
- ・走行中は録画を行うため、専用アプリにメッセージが表示され、使用が制限されます。操作を行う際は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。また「操作継続」を押すことで、同乗者の方が操作を行うことはできませんが、一部機能ご使用時は録画を停止しますのでご注意ください。



👆 アドバイス

専用アプリの対応 OS : iOS 16 以上 / Android 12 以上

- ・対応スマートフォンに関しては以下 URL または右記 QR コードよりご確認ください。

<https://www.mems.co.jp/product/sbr-dr/>



- ・アプリの技術仕様上は、Android 9.0 以上、iOS 14.0 以上でインストール可能ですが、当社での動作確認およびサポート対象は上記の対応 OS を基準とします。
- ・対応 OS の範囲内であっても、すべての端末・環境での動作を保証するものではありません。また、対応 OS は、今後の検証結果、OS の提供状況、利用状況等により変更する場合があります。

スマートフォン専用
アプリを使用する

スマートフォン専用アプリを使用する

接続方法

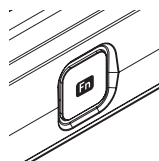
※本書では iPhone の画面を例に説明を行います。

- 1) スマートフォンに専用アプリ[SDR-Access]
をインストールし起動します。

※専用アプリのダウンロードにかかるパケット通信料は、お客様の
ご負担となります。



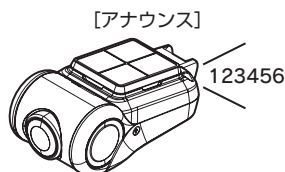
- 2) 本体の Fn スイッチを**長押し**し、接続モードに
します。



- 3) アプリ上に接続可能なドライブレコーダーが
表示されるため、対象端末をタッチします。



- 4) 本体からアナウンスされる 6 桁の数字とスマートフォン上に表示
される内容に間違いがないか確認のうえ、[ペアリング]をタッチします。



- 5) アプリのホーム画面が表示されれば接続は完了です。



アドバイス

専用アプリの詳しい操作方法、画面説明に関しては「[その他情報] 画面の「アプリの使い方」をタッチしご確認ください。



設定

本体設定を変更する

本製品の設定は専用アプリを使用することで変更できます。

操作方法

【スマートフォン専用アプリを使用する】(⇒ P29) の手順に従いドライブレコーダーとスマートフォンを接続後、下図の手順に沿って設定の変更を行なってください。



① ホーム画面で「設定」をタッチする



② 変更を行いたい「設定項目」をタッチする



③ 変更を行いたい項目の「設定内容」をタッチし設定内容を変更する

※ 映像の再生や設定など本体とのデータ通信は無線 LAN 接続によって行われます。各項目をタッチすると接続確認画面が表示されますので「接続」をタッチしてください。

設定画面



表示内容	
①	ドライブレコーダーで録画している映像を表示
②	録画、録音に関する設定を表示
③	本体機能に関する設定を表示
④	駐車監視機能に関する設定を表示
⑤	ドライブレコーダー本体のアップデートを表示
⑥	ドライブレコーダー本体の各ソフトウェア、ファームウェアのバージョンを表示
⑦	ホーム画面へ移動
⑧	イベント録画映像のリストへ移動
⑨	再生画面へ移動

設定内容一覧

表内の【太字】は初期設定を示します。

録画設定一覧

項目	設定内容	参照ページ	備考
カメラ録画サイズ	QHD (2560 × 1440) / 【Full HD (1920 × 1080)】 / HD (1280 × 720)	P34	microSD カードが 初期化されます※ 1
フレームレート	17.5fps / 【27.5fps】 / タイムラプス 1 コマ		
画質	【高画質】 / 低画質		
輝度	明 (+1) / 【標準】 / 暗 (-1)		
イベント録画領域	10% / 【20%】 / 30%	P35	microSD カードが 初期化されます※ 1

※ 1 microSD カード内のデータがすべて消去されます。録画データが必要な場合は、必ずパソコンに保存してください。(⇒ P23)

機能設定一覧

項目	設定内容	参照ページ	備考
G センサー	OFF / 0.1G ~ 【0.5G】 ~ 1.0G	P36	前後 / 左右 / 上下 それぞれ設定可能
タイムスタンプ	OFF / 【ON】		
緊急録画停止	【OFF】 / 1.1G ~ 2.0G	P37	
録画お知らせ	OFF / ON (音声) / 【ON (アラーム)】	P38	
本体音量	1 ~ 【3】 ~ 5		
SD カードの初期化	—	P48	
工場出荷状態に戻す	—	P49	

駐車監視設定一覧

項目	設定内容	参照ページ	備考
駐車監視延長録画	【OFF】 / 10 分 / 30 分 / 60 分	P38	0.02G 単位で 設定可能
駐車監視衝撃検知	【OFF】 / ON		
駐車監視衝撃感度	0.02G ~ 【0.08G】 ~ 0.3G		
駐車監視衝撃お知らせ	OFF / 【ON】	P39	
駐車監視電圧低下お知らせ	OFF / 【ON】		
駐車監視乗車キャンセル	【1 分】 / 3 分 / 5 分		
駐車監視降車キャンセル	【1 分】 / 3 分 / 5 分		

設定

録画設定

カメラ録画サイズ設定 ※設定を変更すると microSD カードが初期化されます

- ・記録する映像サイズを [QHD(2560 × 1440)/Full HD(1920 × 1080)/HD(1280 × 720)] から選択できます。
- ・初期設定は【Full HD (1920 × 1080)】に設定されています。

フレームレート設定 ※設定を変更すると microSD カードが初期化されます

- ・記録する映像のフレームレートを [17.5fps/27.5fps/タイムラプス 1 コマ] から選択できます。
[17.5fps/27.5fps]設定したフレームレートの映像を記録します。
[タイムラプス 1 コマ].....1 秒間に 1 枚の画像を撮影し、15fps の映像に短縮して記録します。
- ・初期設定は【27.5fps】に設定されています。

△ 注意

- ・[タイムラプス 1 コマ] に設定した場合、1 枚 / 秒の記録となるため、タイミングによっては事故の瞬間などが記録されない場合があります。
- ・LED 信号や LED のブレーキランプ、ウインカー、テールランプ、などの LED 光源が記録されない場合があります。

👉 アドバイス

フレームレートについて

フレームレートとは 1 秒あたりの記録枚数を表しており、fps (Frames Per Second) という単位で表します。数値が大きいほど映像が滑らかに再生されますがデータサイズが大きくなり、microSD カードに記録できる件数が減ります。

【タイムラプス 1 コマ】 設定について

- ・[タイムラプス 1 コマ] へ設定を変更する場合は変更確認画面が表示されます。
- ・【録音スイッチ】の状態にかかわらず、録音されません。

画質設定 ※設定を変更すると microSD カードが初期化されます。

- ・記録する映像の画質を [高画質 / 低画質] から選択できます。
- ・初期設定は【高画質】に設定されています。

輝度設定

- ・撮影する映像の明るさを [明 (+1) / 標準 / 暗 (-1)] から選択することができます。
- ・初期設定は【標準】に設定されています。

イベント録画領域設定※設定を変更すると microSD カードが初期化されます。

- ・イベント録画のデータ保存容量の割合を [10% / 20% / 30%] から選択することができます。(⇒ P17)
- ・イベント録画領域の設定を変更すると、常時録画の保存容量の割合も連動して変更されます。
- ・初期設定は【20%】に設定されています。

■ 設定内容によるイベント録画ファイル数の目安

設定	録画ファイル数
10%	約 25 ファイル
20%	約 50 ファイル
30%	約 75 ファイル

※ 上記表は初期設定の場合です。

※ 上記イベント録画ファイル数は目安となり、実際と異なる場合があります。

アドバイス

microSD カードの容量やカメラ録画サイズ、フレームレート、画質の設定を変更した場合は、設定画面に表示される件数となります。

設定

機能設定

G センサー設定

- ・ 衝撃を検出する感度を前後・左右・上下のそれぞれ [OFF/0.1G (敏感) ~ 1.0G (鈍感)] から選択できます。
- ・ [OFF] に設定すると衝撃検出での録画を行いません。
- ・ 初期設定はそれぞれ **【0.5G】** に設定されています。

アドバイス

- ・ 路面の凹凸や段差の通過時、または急なハンドル操作・ブレーキ操作時には、G センサーが衝撃として検出し、衝撃録画が行われる場合があります。
- ・ 衝撃の検出頻度が気になる場合は、使用状況に応じて、[G センサー] 設定で感度を調整してください。
- ・ G センサーの感度を敏感に設定すると衝撃を検出しやすくなります。また、感度を鈍感に設定すると衝撃を検出しにくくなります。

タイムスタンプ設定

- ・ 本設定を ON にすることで録画データに録画日時を埋め込むことができます。
- ・ 初期設定は **【ON】** に設定されています。

タイムスタンプ機能は映像と録画しながら日時を埋め込むため、処理状況により若干の時間のずれが発生することがあります。

緊急録画停止設定

- ・緊急録画停止機能とは、事故などで強い衝撃を検出した後の約 30 秒後に、自動で録画を停止し、重要なデータの上書きを防止する機能です。
- ※ 前後・左右・上下いずれかの衝撃が設定値を超えた際に録画を停止します。
- ・衝撃を検出する感度を [OFF/1.1G(敏感)~2.0G(鈍感)] から選択できます。
- ・初期設定は【OFF】に設定されています。
- ※ 衝撃録画の G センサー設定 (⇒ P36) とは異なります。



マニュアル録画 (⇒ P14) 中に緊急録画停止機能が作動した際の記録映像は、マニュアル録画データとして microSD カードに保存されます。

👆 アドバイス

事故にあった際に...

本製品は microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、衝撃 / マニュアル録画それぞれの古いデータを上書きして新しいデータを記録します。

そのため事故後 microSD カードを抜かずにそのまま車両を移動させたり、修理工場で修理を行う際など本製品の電源が ON になった場合、重要なデータが不意に上書きされてしまう可能性があります。

万一、事故に遭遇した際に、冷静に本製品の電源を OFF にし microSD カードを抜く、といった行動を取るのが難しいと考えられる場合、本機能を有効にしておくことをおすすめします。

■録画を再開する場合

緊急録画停止機能によって録画が停止した場合、本製品を再起動しても録画が停止したままとなります。録画を再開する場合は、下記手順で録画を再開してください。



設 定

録画お知らせ音設定

- ・起動時の音を [OFF/ON（音声）/ON（アラーム）] から選択することができます。
- ・初期設定は【ON（アラーム）】に設定されています。

本体音量設定

- ・本体の確認音や再生時の音量を [OFF/1 ～ 5] から選択することができます。
- ・初期設定は【3】に設定されています。

駐車監視設定

お買い上げ時「駐車監視延長録画」設定および「駐車監視衝撃検知」設定は【OFF】になっています。駐車監視設定の内容を有効にするには「駐車監視延長録画」設定を【10分/30分/60分】のいずれかに変更、または「駐車監視衝撃検知」設定をONに変更してください。

駐車監視延長録画設定

- ・車両キースイッチ OFF 後も記録を行う時間の設定を [OFF / 10分 / 30分 / 60分] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

駐車監視衝撃検知設定

- ・駐車中の衝撃検知時に起動し、記録を行うかの設定を [OFF / ON] から選択できます。
- ・本設定を ON にした場合、通常時は本体動作は停止（スリープ）しているため、消費電力を抑えることができ、長時間の駐車監視モード動作が可能です。（⇒ P28）
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

駐車監視衝撃感度設定

- ・駐車監視モード中の衝撃の検出感度を [0.02G ～ 0.3G] から選択できます。
- ・初期設定は【0.08G】に設定されています。

駐車監視衝撃お知らせ設定

- ・駐車監視中に衝撃録画を行なった場合の本体の動作、お知らせ方法を [OFF / ON] から選択できます。
- ・初期設定は【ON】に設定されています。
- [OFF] 駐車監視中に衝撃録画を行なった場合でも、お知らせを行わず、録画を開始します。
- [ON] 駐車監視中に衝撃録画を行なった場合、次回起動時に駐車時衝撃検出アナウンスのみ行い、録画を開始します。

アドバイス

駐車時衝撃検出アナウンス

- ・【ON】に設定している場合、駐車監視モード中に衝撃を検出していると、次回起動時に駐車監視モード中に衝撃があったことをアナウンスでお知らせします。
- ・車両キースイッチを ACC または ON 後、[駐車監視乗車キャンセル] 設定時間内は、乗車時の振動による衝撃とみなし、上記お知らせは行いません。

駐車監視電圧低下お知らせ設定

- ・本設定を ON にすると、電圧低下によって駐車監視モードが停止した場合、次回起動時にアナウンスを行います。
- ・初期設定は【ON】に設定されています。

駐車監視乗車キャンセル設定

- ・車両へ乗車する際の振動や衝撃を検出しても、駐車時衝撃検出アナウンスを行わない時間を [1 分 / 3 分 / 5 分] から選択できます。
- ※アナウンスのみキャンセルされ、駐車監視衝撃録画データは記録されます。
- ・初期設定は【1 分】に設定されています。

駐車監視降車キャンセル設定

- ・車両から降車する際の振動や衝撃を検出しても、駐車監視衝撃録画データとして記録を行わない時間を [1 分 / 3 分 / 5 分] から選択できます。
- ・初期設定は【1 分】に設定されています。

よくあるご質問

よくお問い合わせいただくご質問を記載しています。下記内容をご確認ください。

内 容	ここをチェックしてください。
車両の電源を入れてもLEDが点灯しないが、電源は入ってますか？	● 本機に電源が供給されていない可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
アラームが鳴っているのですが、何のアラームですか？	● アラーム音確認表およびアナウンス確認表をご確認ください。
アナウンスやアラームの音量を調整したい。	● 専用アプリを使用し、機能設定画面より本体音量の設定を行なってください。
アラームを消音にしたい。	● 常時録画やイベント録画、駐車監視録画などの開始時のアラーム音やアナウンス音は「録画お知らせ音」の設定をOFFにすることで消音できます。 ● 本体音量の設定をOFFにすることですべてのアラーム音やアナウンスを消音できます。ただしエラー時のアラーム音やアナウンス音は消音されません。
走行中、頻繁に衝撃録画が記録されてしまう。	● 専用アプリを使用し、機能設定画面よりGセンサーの設定を現在の設定より鈍感方向（1.0G方向）に調整を行なってください。
事故の衝撃映像が保存されていない。	● 事故時の衝撃によっては、衝撃録画されない場合があります。念のためREC/OKスイッチ操作での録画を行うことをおすすめします。
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	● [カメラ録画サイズ]、[フレームレート]および[画質]の設定を変更することで記録時間を変更することができます。 ※上記設定を変更するとmicroSDカードが初期化(※1)されます。(⇒P48)
1 ファイルの録画または記録時間を変更できますか？	● 1 ファイルの録画または記録時間を変更することはできません。
microSDカードに映像が記録できない。	● 付属品または本機純正品のmicroSDカードを使用していない可能性があります。付属品または本機純正品のmicroSDカードを使用してください。 ● microSDカードに異常がある可能性があります。microSDカードの初期化(※1)を行なってください。(⇒P48) ● 付属品または本機純正品のmicroSDカードを他の機器で使用してから本機で使用すると、本機で正しく動作しないことがあります。付属品または本機純正品のmicroSDカードを他の機器では絶対に使用しないでください。 ● microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。約2～3年を目安に交換することをおすすめします。また使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。(⇒P8) ● 本機の温度が高温になっている場合、動作状態確認LEDが橙色に点灯し録画を停止します。車内の温度を下げ、動作温度範囲内に戻ると保護機能が解除され、録画ができるようになります。 ● アナウンスとともに動作状態確認LEDが橙色に点灯または点滅していませんか？アナウンス確認表(⇒P45)を確認し、各対処を行ってください。アナウンスを聞き逃してしまった場合は「アナウンス履歴機能」(⇒P46)を使用しご確認ください。

内 容	ここをチェックしてください。
microSD カードの映像は、自分で削除することはできますか？	● ドライブレコーダー本体で SD カードの初期化（※ 1）を行うことで映像を削除することができます。（⇒ P48） ※ 1 件ずつ選択して削除することはできません。 ※ パソコン等で microSD カードのファイルを直接削除しないでください。ドライブレコーダーの本体ソフトウェアがデータを管理しており、不具合となるおそれがあります。
記録したはずの映像がないのはなぜですか？	● microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画、イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録するため、記録した映像が無くなっている場合があります。必要に応じて上書きされる前にパソコンまたは専用アプリを使用して録画データを保存してください。
記録した映像を上書きされない方法がありますか？	● 本機では上書きを防止する設定はありません。必要に応じて上書きされる前にパソコンまたは専用アプリを使用して録画データを保存してください。
スマートフォンとのペアリング登録は何台まで可能ですか？	● 3 台まで登録可能です。
タブレット端末でのペアリング登録はできますか？	● 動作確認機種は適合表をご確認ください。
本体が熱くなる	● 本製品の動作中、本体表面が熱くなりますが異常ではありません。（⇒ P5） ● 「高温注意」のアナウンスがされた場合は、しばらく時間をおいて動作温度範囲内に戻ってからご使用ください。（⇒ P45）
起動しなくなったり、動作が不安定になる。	● 必要な映像をパソコンへ保存してから、本体で microSD カードの初期化を行なってください。（⇒ P8,P48）
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	● 事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
microSD カードがパソコンで認識されない。	● お使いのカードリーダーは SDHC に対応していますか？ 付属のカードは microSDHC カードとなっているため、SDHC に対応している必要があります。
ピーピーピー…と音が鳴り続ける	● カメラケーブルの接続不良または断線の可能性があります。お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※ 1 microSD カード内のデータがすべて消去されます。必要なデータはパソコンまたは専用アプリを使用して録画データを保存してください。

駐車監視モードについてのご質問

内 容	ここをチェックしてください。
駐車監視モード中はずっと録画していますか？	● 「駐車監視延長録画」設定時間中は電源 OFF 後も常時録画および衝撃録画を行います。また「駐車監視衝撃検知」設定を【ON】に設定している場合、衝撃を検出時状態では本製品は OFF（スリープ）になりますが、衝撃を検出時に起動し記録を行います。ただし、車両バッテリーの電圧が 12V 以下になると、駐車監視モードを終了します。 ※ 夏の暑い日や冬の寒い日など、駐車監視モード中に本体の動作温度範囲を超えた場合も、駐車監視モードを終了します。あらかじめご了承ください。

付 録

内 容	ここをチェックしてください。
駐車監視モードへ移行しない、すぐに停止してしまう。	1. [駐車監視延長録画] 設定または [駐車監視衝撃検知] 設定が【OFF】になっていないかご確認ください。 2. 本製品は車両バッテリー保護のため、電圧監視機能を搭載しています。車両バッテリーが劣化している場合など、エンジン OFF 後の車両バッテリーの電圧が 12V 以下の場合やその付近の場合など駐車監視モードが動作しない場合があります。 3. [駐車監視衝撃検知] 設定のみを【ON】に設定している場合、衝撃を未検出状態では本製品は OFF（スリープ）になります。また同時に [駐車監視延長録画] 設定を OFF 以外に設定している場合、設定時間経過後も同様の動作となります。 4. 緊急録画停止中および【アナウンス確認表】（⇒ P45）に記載のアナウンス時は駐車監視モードへ移行しません。
駐車監視モードの動作確認を行うには？	● 駐車監視モード動作中は本体の LED ランプで動作を確認できます。（⇒ P44）
駐車監視モードを設定したいが、それぞれのカメラで設定が必要ですか？	● フロントカメラ、リヤカメラそれぞれで駐車監視モードの設定を行ってください。
駐車監視衝撃検知の設定を変えたい。	● 専用アプリを使用し、駐車監視設定画面より駐車監視衝撃検知の設定を変更してください。
夜間の街灯などの無い暗い所でも撮影できますか？	● 本製品は PureCel® Plus 技術を搭載した CMOS センサーを採用しているため、明かりが少ない場所でも比較的明るい映像を記録することができます。ただし、周囲に明かりが全く無いような状況では明るく撮影できない場合があります。あらかじめご了承ください。

スマートフォン専用アプリについてのご質問

内 容	ここをチェックしてください。
スマートフォンと接続するとき、専用パスワードは必要ですか？	● 専用パスワードは不要です。本体からアナウンスされる 6 桁の数字と専用アプリ上に表示される内容に間違いがないか確認し、接続を行ってください。
フロントカメラとリヤカメラへ同時に接続できますか？	● 同時に接続することはできません。
フロントカメラとリヤカメラで同時に再生できますか？	● 専用アプリで同時に再生することはできません。同時に再生する場合はフロントカメラとリヤカメラを接続したうえ、PC へ両方の microSD カードを挿し込み、PC ビューアでご確認ください。
アプリで地図表示できますか？	● 専用アプリで地図を表示することはできません。
アプリの詳しい扱い方が知りたい。	● 専用アプリの詳しい操作方法、画面説明に関しては [その他情報] 画面の [アプリの使い方] をタッチしご確認ください。
ペアリング済のドライブレコーダーを削除したい。	● スマートフォンの Bluetooth 設定より本機を削除してください。

内 容	ここをチェックしてください。
エラー表示が出てしまったが、どういう条件でなりますか？また、その対処方法ありますか？	「ドライブレコーダーとの接続が解除されました。」と表示される。
	● 再度操作を行ってください。
	「映像リストの取得に失敗しました。」と表示される。
	● 再度操作を行ってください。
	「接続に失敗しました。繰り返し接続に失敗する場合は、スマートフォンの Bluetooth 設定から該当のドライブレコーダーの登録を解除し、再度接続（ペアリング）を行ってください。」と表示される。
	● 表示メッセージに従い、スマートフォンの Bluetooth 設定からドライブレコーダーの登録を解除し、再度接続操作を行ってください。

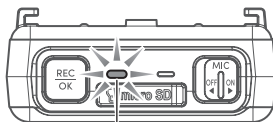
PC ビューアについてのご質問

内 容	ここをチェックしてください。
PC ビューアを消してしまった。	● microSD カード内から削除してしまった場合は、ドライブレコーダー本体へ microSD カードを挿し込み起動することで復元します。 ● 以下専用サイトよりダウンロードすることもできます。 https://www.mems.co.jp/product/sbr-dr/
パソコンの OS が古いのですが、映像を見ることはできますか？	● 対応 OS は、Windows 11 です。それ以外の OS では、PC ビューアは起動しても再生が正しく行われない場合があります。 ※対応 OS は変更となる場合があるため、最新の対応 OS は専用サイトをご確認ください。
録画した映像は、Windows Media Player 等の汎用ソフトで見ることはできますか？	● 可能ですが、再生ソフトによっては正しく再生できない場合があります。また、速度や位置情報などの情報は確認できません。
地図の自転車位置が実際とずれているのですが？	● 地下駐車場や立体駐車場、屋内、ビルなどに囲まれた環境を走行する場所や起動直後など GPS 衛星の状態によっては、GPS の情報が正常に受信できず自転車位置がずれることがあります。
記録された速度と車両メーターパネルの速度とずれているのですが？	● 速度は GPS の情報から取得しています。地下駐車場や立体駐車場、屋内、ビルなどに囲まれた環境を走行する場所や GPS 衛星の状態によっては、速度がずれた表示になることがあります。 ● GPS での速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

付 録

LED ランプ確認表

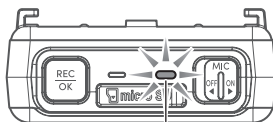
動作状態確認 LED



動作状態確認 LED

LED 表示	本体動作	内容
緑点灯	録画中	録画中（GPS 受信時）
早い緑点減		・ 録画中（GPS 未受信時） ・ 駐車監視降車キャンセル中（駐車監視延長録画動作時）
緑点減		・ イベント録画中 ・ 駐車監視モード中の衝撃録画中
緑 3 回点減		駐車監視モード動作中（駐車監視延長録画動作時）
橙点灯	録画停止	・ 起動中 ・ 専用アプリでの設定および再生中 ・ 本体温度の高温または低温による動作停止中
早い橙点減		駐車監視降車キャンセル中（駐車監視衝撃検知動作時）
橙点減		・ エラーアナウンス中 ・ 緊急録画停止中
橙 3 回点減		駐車監視モード動作中（駐車監視衝撃検知動作時）
緑・橙交互点減		本体ソフトウェアのアップデート中

接続状態確認 LED



接続状態確認 LED

LED 表示	内容
消灯	リヤカメラ / スマートフォンとの未接続時
青点減	リヤカメラ / スマートフォンとの接続処理中
青点灯	リヤカメラ / スマートフォンと接続中
青・赤交互点減	接続モード中
赤点減	通信機能が動作していません。再起動しても赤点減している場合、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

アナウンス確認表

下記アナウンスがされた場合、対処方法をご確認ください。

アナウンス内容	LED 表示	対処方法
SD カードが 挿入されていません。	橙点滅	microSD カードが未挿入の場合にアナウンスされます。 電源を OFF にしてから、microSD カードを挿入して起動してください。
SD カードを 確認してください	橙点滅	microSD カードの書き込みや読み込みなどに失敗した場合にアナウンスされます。 電源を OFF にしてから、microSD カードの抜き挿しを行なって起動してください。それでも改善されない場合は、microSD カードを交換してください。
SD カードの読み込みに 失敗したため再起動しました。	緑点滅 / 緑点灯	microSD カードの読み込みの失敗を検出した場合にアナウンスされます。このアナウンスが繰り返し行われる場合は、microSD カードを交換してください。
SD カードが破損しています。 SD カードを交換してください。	橙点滅	microSD カードが破損している場合にアナウンスされます。microSD カードを交換してください。
SD カードのフォーマットが必要です。 実行する場合は REC/OK スイッチ、 キャンセルする場合はファンクション スイッチを押してください。	橙点滅	新しい microSD カードを挿入した場合など、microSD カードの初期化が必要な際にアナウンスされます。 REC/OK スイッチを押すと microSD カードの初期化を行います。初期化を行うと、microSD カード内のデータがすべて消去されます。
書き込み速度が低下したため 再起動しました。	緑点滅 / 緑点灯	microSD カードへの書き込み速度の低下を検出した場合にアナウンスされます。このアナウンスが繰り返し行われる場合は、microSD カードを交換してください。
SD カードの交換推奨時期です。 早めの交換をお勧めします。	緑点滅 / 緑点灯	付属または別売りオプションの microSD カード使用時に、microSD カードの交換推奨時期が近くなるとアナウンスされます。 microSD カードの寿命により映像の記録ができなくなる前に早めの交換をおすすめします。
本体温度が高温のため 録画・再生機能を停止します。 本体温度が低温のため 録画・再生機能を停止します。	橙点灯	本体の動作温度範囲を超えているため、正常に動作できません。しばらく時間をおいて動作温度範囲内に戻ってからご使用ください。
システムファイルが破損しています。専 用ファームウェアを SD カードに保存 し、再起動してください。	橙点滅	専用ファームウェアを SD カードに保存し、再起動してください。 ※専用ファームウェアはホームページよりダウンロードしてください
本製品以外で使用していた SD カードが 挿入されています。本製品で使用するに は、SD カードのフォーマットが必要です。 SD カードのフォーマットを実行する場 合は、REC/OK スイッチを押してください。 フォーマットを行わない場合は、電源 OFF 後に別の SD カードに差し替えてください。	橙点滅	フロントカメラヘリヤカメラの microSD カードを挿入したり、リヤカメラへフロントカメラの microSD カードを挿入したりした際にアナウンスされます。microSD カードの印刷内容を確認のうえ、正しい本体へ挿入してください。

付 録

アナウンス内容	LED 表示	対処方法
非純正のSDカードが挿入されています。	緑点滅 / 緑点灯	付属または純正以外の microSD カード使用時にアナウンスされます。
GPS を受信できません。	緑点滅	地下駐車場や立体駐車場、屋内、ビルなどに囲まれた場所などでは GPS を受信できない場合があります。場所を移動して GPS の受信をご確認ください。
SD カードのデータを確認しています	緑・橙 交互点滅	1 つの本体に対して複数枚の microSD カードで使用している場合に、本体のアップデート後、アップデートに使用していない別の microSD カードを挿入した際にアナウンスを行います。これは microSD カード内のデータを本体に合わせて更新しているためです。LED の点滅が終わるまで microSD カードを抜かずしばらくお待ちください。

アナウンス履歴機能

- ・本体の [REC/OK スイッチ] を押し続けることにより、直近 10 件のアナウンス履歴を連続して再生することができます。
- ・再生途中で [REC/OK スイッチ] を放した場合は再生中のアナウンスで終了となります。



アラーム音確認表

本製品のアラーム音の種類および動作内容の一覧表です

アラーム音	動作内容
ポーン ポーン	常時録画開始時／駐車監視録画開始時
ピピッ	イベント録画（衝撃録画／マニュアル録画）開始時
ピピピピッ	イベント録画（後続車接近録画）開始時
ブブッ	エラーアナウンス時

記録時間の目安

microSD カードの容量による記録時間の目安

記録時間は録画サイズ設定、画質設定、フレームレート設定により変動します。

※ 本製品付属 microSD カード：32GB (Class10)

【カメラ録画サイズ】、【フレームレート】、【画質】、【イベント録画領域】の設定を変更した際は microSD カード内のデータがすべて消去されます。録画データが必要な場合は、必ずパソコンに保存してください。(⇒ P23)

録画サイズ	フレームレート	画質	記録時間
QHD	27.5fps	高画質	約 190 分
		低画質	約 205 分
	17.5fps	高画質	約 205 分
		低画質	約 265 分
	タイムラプス 1 コマ	高画質	約 48 時間
		低画質	約 61 時間
Full HD	27.5fps	高画質	約 240 分
		低画質	約 290 分
	17.5fps	高画質	約 265 分
		低画質	約 320 分
	タイムラプス 1 コマ	高画質	約 61 時間
		低画質	約 75 時間
HD	27.5fps	高画質	約 265 分
		低画質	約 320 分
	17.5fps	高画質	約 290 分
		低画質	約 320 分
	タイムラプス 1 コマ	高画質	約 68 時間
		低画質	約 85 時間

※ 本製品の初期設定は録画サイズが【Full HD】、フレームレートが【27.5fps】、画質が【高画質】に設定されています。

※ 本機に付属または純正の microSD カードを使用してください。付属または純正品以外では正しく動作しないことがあります。

SD カードを初期化する（録画データの消去）

- ・ microSD カードの録画データを消去し初期化を行います。
（SD カードの初期化を行っても本体の設定情報は保持されます）
- ・ 新しい microSD カードや付属以外の microSD カードを使用する場合は、必ず SD カードの初期化を行なってください。

■初期化方法

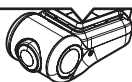
- 1) 本体の[REC/OK スイッチ]と[Fn スイッチ]を同時に押す。



REC/OK スイッチと
Fn スイッチを同時に押す

- 2) SD カードの初期化アナウンスがされるので、[REC/OK スイッチ]を押す。

SDカードを初期化します。
実行する場合はREC/OKスイッチ、
キャンセルする場合はファンク
ションスイッチを押してください。



REC/OK スイッチを
押す

- 3) 初期化が開始され、完了すると「SD カードを初期化しました」とアナウンスされます。

SDカードを初期化しました



👉 アドバイス

- ・ microSD カード内のデータがすべて消去されます。必ず事前に内部データのバックアップを行なってください。
- ・ 安定してご使用いただくため、定期的に初期化することをおすすめします。
- ・ 新しい microSD カードや付属以外の microSD カードを使用する場合は、起動時の[SD カードの初期化]アナウンスの案内に従って初期化を行なってください。
- ・ 専用アプリの設定内〔機能設定〕画面から初期化を行うこともできます。

工場出荷状態に戻す（オールリセット）

本製品に記録された録画データおよび設定情報をすべて消去します。



注意

消去したデータを復元することはできません。

■初期化方法

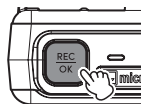
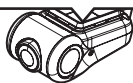
- 1) 本体の[REC/OK スイッチ]と[Fn スイッチ]を同時に**長押し**する。



REC/OK スイッチと
Fn スイッチを同時に**長押し**する

- 2) オールリセットアナウンスがされるので、[REC/OK スイッチ]を押す。

オールリセットします。
実行する場合はREC/OKスイッチ、
キャンセルする場合はファンク
ションスイッチを押してください。



REC/OK スイッチを
押す

- 3) 初期化が開始され、完了すると「オールリセットしました」とアナウンスされます。

オールリセットしました



👉 アドバイス

- ・ microSD カード内のデータおよび設定情報がすべて消去されます。必ず事前に内部データのバックアップを行なってください。
- ・ 専用アプリの設定内【機能設定】画面から工場出荷状態に戻すこともできます。
- ・ リヤカメラやスマートフォンとの接続情報も消去されます。リヤカメラと再接続する場合は【リヤカメラと接続する】(⇒ P50)を参照し再接続を行なってください。スマートフォンと再接続する場合は、スマートフォンから本製品のBluetooth 接続情報を削除したうえ、【専用アプリを使用する】(⇒ P29)を参照し再接続を行なってください。

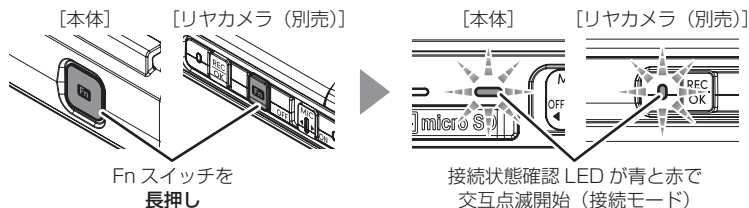
リヤカメラと接続する

本製品は別売のリヤカメラと接続することによって、PC ビューアで映像を確認する際に前方と後方の映像を同時に確認することができます。

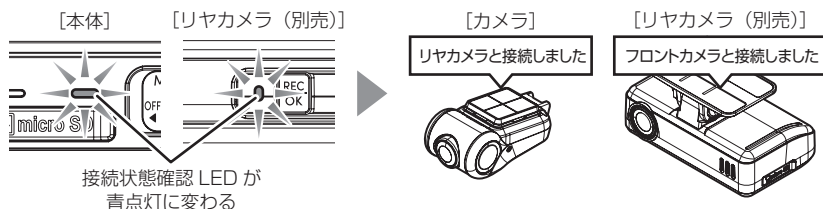
接続方法

- 1) 本製品とリヤカメラのFn スイッチを**長押し**し、両方とも接続モードにします。

・接続状態確認 LED が青と赤で交互点滅を開始します。



- 2) しばらく待つと、接続状態確認 LED が青点灯に変わり、本製品から「リヤカメラと接続しました」、リヤカメラから「フロントカメラと接続しました」とアナウンスされ、接続完了です。



リヤカメラと接続時の注意点

リヤカメラと接続して使用する際は以下内容にご注意ください。

- ・フロントカメラとリヤカメラで録画設定の内容が異なっていたり、専用アプリを接続していた場合など、記録時間に差が生じるため、片側だけの映像となる場合があります。（フロントカメラのカメラ録画サイズ設定が「QHD」になっている、専用アプリと接続して片側だけ録画を停止していたなど）
- ・フレームレート設定が片側だけ「タイムラプス 1 コマ」になっている場合、同期して再生することはできません。
- ・フロントカメラとリヤカメラは無線で接続されるため、間に電波を通さない遮蔽物があった場合、正常に接続できません。
- ・周囲の電波状況やその他電装品、無線機器等の影響で接続が不安定になる場合があります。
- ・各種イベント録画（衝撃録画 / マニュアル録画）はフロントカメラで検出した衝撃やスイッチ操作により、リヤカメラと連動して記録を行います。ただし後続車接近録画はリヤカメラの機能のため、リヤカメラでの検出により前後記録を行います。
※接続中は、リヤカメラで検出した衝撃は無効となります。
- ・接続中はフロントカメラで衝撃の検出を行うため、リヤカメラの緊急録画停止設定の設定内容は無効になります。フロントカメラの設定内容により動作を行います。
- ・フロントカメラの電源が入っていない場合や、SD カードエラー等によりフロントカメラが録画停止していて接続できない場合は、リヤカメラ単独動作に切り替わるため、リヤカメラの衝撃検出感度は、リヤカメラの「G センサー」設定の設定内容にて動作を行います。
- ・フロントカメラと専用アプリを接続することにより、フロントカメラが録画停止している場合でも、リヤカメラの衝撃検出感度はフロントカメラの「G センサー」設定の設定内容にて動作を行います。
- ・フロントカメラの【SD カードの初期化】（⇒ P48）および【工場出荷状態に戻す】（⇒ P49）操作を行なっている際は、衝撃を検出しているフロントカメラが録画停止状態のため、リヤカメラの衝撃録画は行えません。ただし、常時録画は継続しています。

本体を更新する

ホームページより更新データをダウンロードすることで、本製品のアップデートを行うことができます。

アドバイス

- ・更新データがある場合、PC ビューア起動時に更新のお知らせが表示されます。(インターネット接続時および microSD カード装着時)
- ・更新方法の詳細はホームページ (<https://www.mems.co.jp/product/sbr-dr/>) をご確認ください。ただし更新データがない場合、掲載はありません。
- ・専用アプリの設定内[ファームウェアアップデート]から更新することもできます。

商標について

- ・ microSD ロゴは SD-3C LLC の商標です。
- ・ PURECEL® は OmniVision Technologies, Inc. の商標です。
- ・ iPhone、App Store、Apple CarPlay は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ・ IOS は米国およびその他の国における Cisco の商標または登録商標であり、ライセンス許諾を受けて使用されています。
- ・ Android、Android Auto、Google Play は、Google LLC の商標または登録商標です。
- ・ Windows は米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。
- ・ Intel Core は Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- ・ QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・ その他、本取扱説明書に記載されている各種名称や会社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

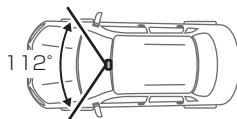
製品仕様

電源電圧			DC12V
最大消費電流			通常時：250mA 以下 / スーパーキャパシタ充電時：540mA 以下
動作温度範囲			-20℃～75℃
カメラ	撮像素子	1/2.9 型 CMOS センサー PureCel® Plus 技術搭載	
	総画素数	400 万画素	
	有効画素数	最大 370 万画素	
	レンズ画角	水平 112° 垂直 60°（対角 133°）	
	F 値	F2.0	
記録映像サイズ			QHD (2560 × 1440) / Full HD (1920 × 1080) / HD (1280 × 720)
録画画質	高画質	27.5fps	16Mbps (QHD) / 12Mbps (Full HD) / 10Mbps (HD)
		17.5fps	14Mbps (QHD) / 10Mbps (Full HD) / 8Mbps (HD)
	低画質	27.5fps	14Mbps (QHD) / 8Mbps (Full HD) / 6Mbps (HD)
		17.5fps	10Mbps (QHD) / 6Mbps (Full HD) / 4Mbps (HD)
GPS			○
G センサー			○ (0.1G ～ 1.0G : 0.1G 単位で設定可)
記録方式			常時録画 / イベント録画（衝撃録画 / マニュアル録画（手動録画））
録画ファイル構成			30 秒単位
音声録音			ON/OFF 可能
フレームレート			27.5fps / 17.5fps
映像ファイル形式			MP4（MPEG-4 AVC / H.264）
記録映像再生方法			PC ビューア (Windows 11 専用) ※タブレット PC 除く スマートフォン専用アプリ
記録媒体			microSD カード（付属：32GB/Class10）
サイズ		本体	カメラ
(W) × (H) × (D)/mm		66 × 100 × 27.8	36 × 71.2 × 28.9
取付ステー装着時		66 × 100 × 29.9	36 × 71.2 × 32.4
重量		123.8g	95.7g

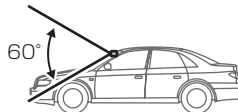
※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

■カメラ画角イメージ

■ 水平画角



■ 垂直画角



本製品の取扱説明書などのサポート情報に関しては、以下 URL または QR コードよりご確認ください。

<https://www.mems.co.jp/product/sbr-dr/>



お問い合わせ

製品のお取扱方法、修理等に関するご相談は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。